

デザイン学研究科 造形デザイン学特別研究 ルーブリック

学籍番号: _____
 学生氏名: _____
 教員氏名: _____

						配分	採点
■修士論文または 特定の課題	S(秀)63～70点	A(優)56～62点	B(良)49～55点	C(可)42～48点	D(不可)～41点	70	<input type="text"/>
	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや劣る	<input type="checkbox"/> 劣る		
■研究態度	S(秀)18～20点	A(優)16～17点	B(良)14～15点	C(可)12～13点	D(不可)～11点	20	<input type="text"/>
	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや劣る	<input type="checkbox"/> 劣る		
■プレゼンテーション	S(秀)9～10点	A(優)8点	B(良)7点	C(可)6点	D(不可)～5点	10	<input type="text"/>
	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや劣る	<input type="checkbox"/> 劣る		
合計						100	<input type="text" value="0"/>

成績評価方法と基準(シラバス) ※シラバスの到達目標を考慮した上で採点をお願いいたします。

到達目標	論文または特定の課題	研究態度	プレゼンテーション
研究するテーマが独創性を持ち、現代および今後の社会にとって有用なる要素を含んでいるかについて、客観的批判的思考を基に展開(論文または特定の課題による)することができる。(A-3)	○	○	○
自らの研究テーマ及び課題の検討を広く深く行い、解決策へ導くために必要な理論を構築し、その根拠となる調査研究の手法や制作手法を基に展開(論文または特定の課題による)できる。(A-3)	○	○	○
有意義な成果を得るために、必要な計画を立てることができる。(A-3)	○	○	○
自らの研究過程や成果をより効果的なものにするために、説得力を伴ったコミュニケーションをおこなうことができる。(A-2)	○	○	○
評価割合(%)	70	20	10